

# 白金区 支え合い制度について

前白金区長  
戸澤 和人

# 白金区について

旧穂高町の東に位置し、ショッピングセンターアミーを中心に約280戸の家庭で構成されている。

穂高23区の中では小さい区であるが、区への加入率も高く、小さいながらもよくまとまった区である。

## 区長在任時に感じた福祉に関する区の現状

- 高齢化が進み、高齢者が夫婦で、あるいはお一人で暮らす家庭が増えてきている。
- 40年ほど前の宅地開発時に新築して区に加入された方がそろって高年齢化してきている。
- 息子や娘さんと同居している二世帯家庭が減ってきている。
- 夜間にお一人で亡くなられた方も出てきている。

# 白金区福祉アンケートの結果から見えてきたこと ①

現在困っていること	回答者 1 6 8 名中
第 1 位 庭木の枝払い	4 4 人
雪かき	4 4 人
第 2 位 粗大ごみの片づけ	3 4 人
第 3 位 草取り・草刈り	2 3 人
第 4 位 ゴミ出し	1 6 人
第 5 位 蛍光灯や電球の交換	1 4 人

## 白金区福祉アンケートの結果から見えてきたこと ②

区の支援員にお願いしたいこと	回答者
第1位 雪かき	43人中
第2位 庭木の枝払い	31人中
第3位 草取り・草刈り	19人中
第4位 粗大ごみの片づけ	18人中
第5位 簡単な補修	10人中
第6位 蛍光灯や電球の交換	9人中

## 白金区福祉アンケートの結果から見えてきたこと ③

### 困りごとに対する高齢者の現在の対応方法

- 別のところに住んでいる息子や娘にお願いしている。
- 庭木の枝払い等はシルバー人材センターにお願いしている。
- 友人にお願いしている。

## 白金区福祉アンケートの結果から見えてきたこと ④

備考欄に寄せられた意見から

- 区内における支援員の制度は大変よいと思います。
- これからこうした支援制度は必要不可欠のものになってきます。
- 費用も決まっていて顔見知りの方が来てくれるなら安心して頼むことができます。
- 知っている人だとかえって気を遣うので公の人の方が頼みやすいです。

# 白金区における支援制度の基本的な方向

社協や農協、安曇野市、シルバー人材センターに加え、民間でもこのようなサービスを行っていることを考え、次のような方向性を定めた。

①既存の支援制度では手の届きにくい次の4点に支援を絞った。

- ・雪かき・ゴミ出し・蛍光灯や電球等の交換
- ・簡単な庭木の枝払い・その他相談に応じて

②30分以内で終わる支援

③急に体調が悪くなった場合のゴミ出し等緊急性のあるもの

④支援をお願いしやすくするため、30分300円の料金設定



# 白金区支え合い制度

白金区 福祉部



**「庭の雪の除雪」**

大雪が降って庭が雪で埋まってしまった。シルバー人材センターにお願いしてもすぐ来てくれそうもない。どうしよう！

**「電球や電池の交換等」**

居間の蛍光灯が突然切れてしまった。もうすぐ夜になってしまう！これだけのことで電器屋さんをお願いするのも気が引けてしまう。

**「ゴミ出し」**

急に腰が痛くなってゴミを出すことができそうもない。社協の「しあわせ・あずみん」に連絡しても間に合いそうもない。困った！

**「庭木の枝払い」**

道路にはみ出した枝が気になるけど、、、。1本だけなので誰かにお願いしたい。



このようなとき、白金区の支え合い制度をご利用ください。下記の支援員がうかがいます。

事務局 6 常会 1 7 組 戸澤 和人	82-7555
	090-9669-3364
4 常会 1 1 組 磯野 義昭・康子	82-4542
1 1 組 田口 典仁・美雪	82-8566
5 常会 1 2 組 高橋 啓之	82-4281
6 常会 1 7 組 佐藤喜四郎	82-4085

○支援を必要とするときは事務局か福祉員でもある組長さんに連絡してください。

♡ 料金は30分300円いただきます。(おつりの必要なきようをお願いします。)

社協の「しあわせ・あずみん」と同額です。

♡ 支援は30分以内で終わる内容を想定しています。

♡ 車での送迎はできませんが、その他相談に応じます。



➡ 生活支援をしてくださる団体の一覧表を用意してあります。

➡ 支援員、随時募集しています。事務局まで連絡してください。

必要に応じてこの回覧をメモしたりコピーしたりしてください。

## 支援制度を発足してからの具体的依頼

昨年12月に支援制度を発足した所、さっそく支援の依頼があった。80代の一人暮らしのおばあちゃんから亡くなった主人が残した大量の植木鉢を処分してほしいとの依頼だった。さっそく支援員2名で訪問し、2回にわたって合計30袋にもおよぶ植木鉢を処分することができた。このおばあちゃんは足が悪く杖を使用している状態だったので、自分では処理できなかつたのである。予想していた支援内容ではなかったが、あらためていろいろな困りごとがあることがわかってきた。

# 白金区支え合い制度の今後の方向

## 1 支援員を増やす。

現在7名の支援員であるが、最終的には各組で最低1人の支援員を配置したい。また、社協の福祉員を兼ねることによって支援の体制を強化することも考えていきたい。

## 2 支え合い制度の永続化を図る。

支援員にあまり大きな負担をかけることなく、この制度が長続きすることを基本に考える

福祉の輪が広がることを願いつつ

終了

ありがとうございました。

白金区 現福祉部長 戸澤和人